

# 令和6年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

## 中学校（音楽）問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

### 注 意

- 1 この問題は7問4ページで、時間は60分です。
- 2 解答用紙は、別紙で配布します。「始め」の合図で始めてください。
- 3 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 解答用紙を持ち出してはいけません。

令和6年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

## 中学校 音楽

1 次の(1)～(5)に答えよ。

- (1) 能における「ワキ」について、「シテ」ということばを用いて説明せよ。
- (2) 「同主調」について説明せよ。
- (3) 「*accelerando*」の用語の読み方と意味を記せ。
- (4) 「*Allegro con brio*」の用語の読み方と意味を記せ。
- (5) 都節音階について、ホ音（一点ホ音）を開始音として全音符で記せ。

2 次は、ある楽曲の一部分を示したものである。この楽譜をホルン（in F）で演奏できるように移調して記譜せよ。

※著作権法により掲載を省略します。

3 次の(1)～(3)に答えよ。

- (1) 箏の演奏に用いる爪には、丸爪と角爪の2種類がある。それぞれの爪を用いる流派の名称を記せ。
- (2) 打楽器について、次の①、②に答えよ。
  - ① スペイン語で「木の箱」を意味し、楽器の上にまたがって構え、打面やフチの部分を手で打って演奏する楽器の名称を記せ。
  - ② ボンゴを演奏する場合、演奏者から見て左側に構えるのは、楽器の小さいほうと大きいほうのどちらか、記せ。

(3) 次の①～③は、郷土の祭りや伝統芸能、民謡の説明文である。それぞれにあてはまる名称を記せ。

- ① 山梨県の上野原市秋山に伝わる風流踊で、太鼓や鉦を鳴らして病気退散などを祈る、踊り念仏の一種である。2022年にユネスコの無形文化遺産に登録された。
- ② 沖縄県で生まれた踊り歌で、魚を捕る青年たちとそれを売りに行く娘たちの、のどかな漁村の暮らしが描かれている。
- ③ 催太鼓、だんじり、どんどこ船など、さまざまな芸能を載せた船が行き交う祭りで、大阪府の大川（旧淀川）で繰り広げられる船渡御で知られている。

4 4分の4拍子、8小節として、2声のリズムアンサンブルを解答用紙に創作せよ。また、どのような思いや意図をもって創作したのか（工夫点）を簡潔に記せ。なお、演奏は手拍子で行うものとする。

5 次は、共通教材『荒城の月』の一部分を示したものである。Aの楽譜は原曲、Bの楽譜は補作編曲されたものである。次の(1)～(3)に答えよ。

A	<p style="text-align: center;"><b>Andante</b> <i>mf</i></p>
B	<p style="text-align: center;"><b>Lento doloroso e cantabile</b> ♩ = 63 <i>p</i></p>

- (1) この楽曲の原曲作曲者と補作編曲者をそれぞれ漢字で記せ。
- (2) Bの楽譜に示されている音楽記号「Lento doloroso e cantabile」の意味を記せ。
- (3) この楽曲を歌唱教材として第2学年で扱う場合、どのような題材名（学習目標）が考えられるか、記せ。

6

次の(1), (2)に答えよ。

- (1) 次は、中学校学習指導要領 第2章 第5節 音楽の「第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕 1 目標」の一部である。下の①～⑤にあてはまることばを記せ。

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の( ① )について理解するとともに、創意工夫を( ② )音楽表現をするために必要な歌唱, 器楽, 創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや, 音楽を自分なりに( ③ )しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み, 音楽活動の楽しさを( ④ )することを通して, 音楽文化に親しむとともに, 音楽によって( ⑤ )を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

- (2) ふだん, 生演奏を聴く機会の少ない地域や人々のところに, 演奏家などが出向き, 芸術を味わう場を提供する活動の名称を記せ。

7

次の(1), (2)に答えよ。

- (1) 第1学年において, 器楽と創作を関連付けた授業を計画する。まず, 8小節の旋律創作を行い, 創作した旋律をリコーダーで演奏させたい。このとき, 次の①～③に答えよ。なお, リコーダーの種類はソプラノもしくはアルトのどちらかとする。
  - ① あなたがこの授業を計画する場合, 旋律創作において, どのような課題や条件を設定するか, 記せ。

- ② 生徒が、創作した旋律をリコーダーで演奏するとき、器楽表現を創意工夫することができるようにするには、どのような指導の工夫が考えられるか、記せ。
- ③ この授業で、器楽の技能の評価を行うときの留意点を記せ。

(2) 第3学年において、鑑賞教材のオペラ『アイーダ』を用いて、3時間の授業を計画する。

次の①, ②に答えよ。

- ① オペラ『アイーダ』の作曲者を記せ。
- ② この教材において、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素を「音色, テクスチャ」として下のような授業計画を立てた。下の(ア), (イ)に答えよ。

時	○学習内容 ・ 学習活動
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オペラに関心をもつ。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・オペラ『アイーダ』の第2幕第2場の冒頭部分を聴き、気付いたことや感じ取ったことを共有する。</li> </ul> </li> <li>○オペラ『アイーダ』について知る。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物やあらすじを教科書で理解する。</li> </ul> </li> <li>○総合芸術について知り、音楽と演劇, 舞踊, 美術などとの関わりについて理解する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2幕第2場を映像で鑑賞し, グループで気付いたことや感じ取ったことを共有する。</li> <li>・音楽と演劇, 舞踊, 美術などとの関わりについて自分の言葉でまとめる。</li> </ul> </li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○曲想と音色, テクスチャとの関わりについて理解する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; width: 60%; margin: 10px auto; text-align: center;">A</div>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽表現の共通性や固有性について考える。</li> <li>○比較して鑑賞したことをもとに, オペラ『アイーダ』の音楽のよさや美しさを味わって聴く。</li> </ul>

(ア) 2時間目の A に、考えられる具体的な学習活動を記せ。

(イ) 3時間目に、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるように、「歌舞伎・能・文楽・バレエ・ミュージカル」のうち一つの教材と比較して鑑賞することとした。あなたが授業を行う場合、どの教材と比較させ、どのような学習活動を行うか。選択する教材とその理由、具体的な学習活動を記せ。